

2022年12月9日

当院における血液内科入院患者に対する気管支肺胞洗淨の検討

京都第一赤十字病院呼吸器内科では、血液内科入院患者様の気管支肺胞洗淨の傾向や有効性に関して後方視的に検討する臨床研究を行っております。

実施にあたり京都第一赤十字病院倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

血液内科入院患者様の肺病変は感染症、血液疾患の肺病変、出血、間質性肺炎など多岐にわたります。その精査のために気管支肺胞洗淨を行うことがあります。肺病変を適切に診断することはその後の治療方針を決める上で重要となります。血液内科入院中の患者様の肺病変の傾向や気管支肺胞洗淨の有用性に関する研究はこれまでほとんど報告がありませんでした。これらについて明らかにすることにより、肺病変が出現した際に適切に検査を行い治療に結び付けることができると考えられます。

研究の方法

対象となる方について

2017年1月1日から2021年12月31日までに当院血液内科で気管支肺胞洗淨を受けられた患者様を対象とします。

研究期間：

調査対象期間：2017年1月1日から2021年12月31日

データ・解析収集期間：倫理審査委員会承認後から2023年12月31日

方法

当院血液内科において研究対象期間に入院され、入院期間中に気管支肺胞洗淨を受けられた患者様を対象とし、検査結果や安全性、有効性について調査します。

研究に用いる試料・情報について

情報：病歴、カルテ番号、画像、等

個人情報の取り扱いについて

研究のために当院で集めた情報は、この研究に使用する際はあなたのお名前の代わりに研

究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、セキュリティーのかかったインターネットに接続できないパソコンで管理します。このパソコンがある部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。この研究で得られた情報は研究責任者の管理の下、厳重な管理を行います。

情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、カルテから抽出した情報は学会・論文発表後 5 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し廃棄します。ただし、他の研究への応用の可能性について承諾をいただいた試料については引き続き厳重に保管され、新たな研究への再利用について、倫理審査委員会においてその可否が審査されます。

研究組織

研究責任者、研究代表（統括）者：

京都第一赤十字病院 呼吸器内科学 部長 平岡 範也
医師 合田 志穂

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都第一赤十字病院 呼吸器内科

職・氏名 医師 合田 志穂 電話：075-561-1121（代表）